

# 自然教育園見ごろ情報

2025年9月25日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

ツリフネソウが  
見頃です!



全域で  
みられます

## ヒガンバナ

秋の彼岸に真紅の花を咲かせることが名前の由来。稲作が日本に伝来した頃に、飢饉などに備える救荒作物として中国から渡来したとも言われます。地下の茎にアルカロイドを含む有毒植物ですが、水にさらしてでんぷんをとって食用としていました。



## ゲンノショウコ

葉や茎が薬草として使われ、薬効がただちに現れるのでゲンノショウコ（現の証拠）という名がつけられたとされています。花の色に地域差があり、西日本は紅色、東日本は白色が多いです。



実  
(11月下旬～)

## カラスノゴマ

細長い実の中の種子が、食用のゴマに似ていることからこの名前がつけられました。下向きに黄色い花をつけています。葉に毛が多く、「ふさふさ」した手触りが特徴的。みなさんも是非、葉を触ってみてください!



## シロバナサクラタデ

比較的肥沃な湿地に生えるタデの仲間。白い小さな花をたくさんつけます。地下で茎を横にのぼして増えます。水生植物園で群落となっています。



## フジバカマ

秋の七草のひとつ。葉を半乾きにすると、桜餅の葉と同じクマリンの香りがするため、古くから香水や浴用に利用されてきました。



## ツリフネソウ

湿地によく群生します。名前は、花の形が帆掛け舟をつり下げたように見えることによります。熟した果実を触ると、パチンと弾けてタネを飛ばします。



実  
(10-11月)



## アジイトンボ

体長3cm程度の小さく華奢なトンボです。オスは腹部の先は青い部分が目立ちます。トンボは交尾の際、写真のようにハート型になります。



## ススキ

穂を尾に見立てて「尾花（おばな）」とも呼ばれ、秋の七草のひとつです。茎と葉は茅葺き屋根の材料とされ、カヤ（茅）とも呼ばれます。改良品種は観賞用によく栽培されています。

水生植物園で  
見られます

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園